

上伊良原神楽【かみいらはらかぐら】



開催場所	京都府みやこ町大字上伊良原 上伊良原公民館（高木神社御旅所）
開催日	5月4日 高木神社神幸祭初日
指定	市町村指定無形民俗文化財

【芸能の概要】

明治29年、日清戦勝を機に同社祭礼の神賑を図るため中川応吉（築城町）を指導者に習得したことが始まりとされている。式神楽 1 ヲ - 5 . 2 (A21233041216 - 5 . 2 () 212 y 10 . 02702 (意工夫も加えられ、文字通り神、人ともに楽しむ神楽の奉納を目指している。町内神楽の源流に当たることから、平成11年、町の無形民俗文化財に指定された。

ヤ 202

【芸能の特徴】

1896（明治29）年、地区内の中村集落の若者によって習得され、高木神社奏楽社として発足したのが始まりとされる。明確な由来は伝わらないものの、日清戦争の勝利をうけた神徳顕彰活動の一環として始められたものとみられている。奏楽社発足の後、京都郡中はもとより田川、下毛郡などへも出張奉納していた。昭和7年には京都郡神楽講社へ加入、出張奉納はさらに盛んとなり、翌年には東京公演も行った。第二次大戦中は講社員が召集されて活動を縮小したが、戦後に復興した。その後の過疎による人口流出で講社員が減少し、昭和48年に断絶寸前の状態になった。このため会員を地区全体から募集し、保存会を結成し、地区全体で支える伝統芸能として再生し現在に至っている。

【使用する祭具・道具など】

神事における奏楽と同様に次の銅拍子の3種からなる。太鼓、横笛、鉦（とんびし）

・アクセス

平成筑豊鉄道犀川駅より、車で約25分

・周辺の観光

犀川公園、ユータウン犀川、蔵持山、B&G 海洋センター
健康ウォーク in さいがわ（3月）
蛇淵キャンプ場開き（6月） 犀川町納涼大会（8月）
犀川町産業文化祭（11月）

・近くの特産品

味噌、茶、漬物、炭

